

## タカラバイオ株式会社 2023年3月期第2四半期決算(補足資料)

### 1. 2023年3月期第2四半期業績について

【決算短信 10 ページ】

(売上高)

- ・ 「試薬」は、275億6,500万円となり、前期比25億7,600万円(10.3%)の増収となりました。このうち、一般研究用試薬は137億円(前期は129億円)、新型コロナウイルス検査関連試薬は138億円(前期は120億円)となりました。
- ・ 「機器」は、前期並みの6億9,400万円となりました。
- ・ 「受託」は、大型ゲノム解析プロジェクトの終了や新型コロナウイルスワクチン関連受託が減少したため、31億8,300万円となり、前期比▲15億4,800万円(▲32.7%)の減収となりました。
- ・ 「遺伝子医療」は、前期並みの11億4,400万円となりました。
- ・ 以上により、売上高は325億8,700万円となり、前期比10億3,500万円(3.3%)の増収となりました。

(売上総利益)

- ・ 売上構成の変化等により原価率が上昇したため、売上総利益は、220億2,500万円となり前期比▲14億7,000万円(▲6.3%)の減益となりました。

(営業利益)

- ・ 売上総利益の減益に加え、研究開発費等に積極的に投資し、販売費一般管理費を増加させましたので、営業利益は、108億7,000万円となり、前期比▲32億3,400万円(▲22.9%)の減益となりました。

(期初予想の修正)

- ・ 新型コロナウイルス第7波などの影響を受け、検査関連試薬の売上高が大幅に伸長し、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益が、期初予想(5月12日)を上回る見込みとなったため、10月25日に業績予想を修正しました。

### 2. 2023年3月期通期業績予想について

【決算短信 11 ページ】

(売上高)

- ・ 「試薬」は、651億600万円と、前期比126億2,600万円(24.1%)の増収予想です。一般研究用試薬は308億円(前期は268億円)、新型コロナウイルス検査関連試薬は342億円(前期は256億円)と、ともに増収予想です。
- ・ 「機器」は、17億1,600万円と、前期比1億9,700万円(13.0%)の増収予想です。
- ・ 「受託」は、83億5,600万円と、前期比▲30億7,000万円(▲26.9%)の減収予想です。大型ゲノム解析プロジェクトの終了や新型コロナウイルスワクチン関連受託の減少による減収を予想しています。

- ・ 「遺伝子医療」は、GMP グレード試薬類等が好調に推移しており、26 億 2,100 万円と、前期比 3 億 4,600 万円 (15.2%) の増収予想です。
- ・ 以上により、売上高は 778 億円と、前期比 101 億円 (14.9%) の増収予想です。

(売上総利益)

- ・ 売上高は増収予想ですが、売上構成の変化等により原価率が上昇するため、売上総利益は、437 億 3,100 万円と、前期比▲54 億 8,000 万円 (▲11.1%) の減収予想です。

(営業利益)

- ・ 売上総利益の減収に加え、研究開発費等に積極的に投資するため、販売費一般管理費を増加させる計画です。そのため、営業利益は 190 億円と、前期比▲99 億 200 万円 (▲34.3%) の減収の予想です。

(通期業績予想の上方修正)

- ・ 売上高は、受託が前回予想(5月12日)を下回るものの、試薬、機器、遺伝子医療が前回予想を上回る見込みです。特に、試薬は一般研究用試薬、新型コロナウイルス検査関連試薬がともに前回予想を大きく上回る見込みです。増収により売上総利益が増益となることから、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益についても前回予想を上回る見込みとなり、通期連結業績予想を修正しました。

(期末配当)

- ・ 期末配当は、前期の 1 株あたり 33 円から 7 円増配の 40 円に予想を修正します。これは、前回予想(5月12日)の 1 株 33 円から 7 円の増配となります。

※ 当社定時株主総会(2023年6月)付議予定

### 3. 為替レート変動による業績影響について

上期および通期予想における為替レート変動の影響額は下表の通りです。

上期	前期比	予想比
売上高	+17 億円	+12 億円
営業利益	+6 億円	+3 億円

通期	前期比	予想比
売上高	+42 億円	+37 億円
営業利益	+9 億円	+7 億円

#### 4. 新型コロナウイルス関連事業の状況について

- ・ 第7波などの影響により2022年7月～8月にかけてPCR検査関連試薬、抗原検査キットの出荷量が急増しました。下期は、冬季の検査需要増が見込まれており、引き続き安定的な出荷体制を整えていきます。

参考:新型コロナウイルス検査関連試薬売上(連結)

期間	上期(6か月)	下期(6か月)	通期(12か月)
21/03期	40億円	90億円	130億円
22/03期	120億円	136億円	256億円
23/03期*	138億円	204億円(予想)	342億円(予想)

※ 23/03期は、PCR検査関連試薬と抗原検査キットの合算。

#### 5. NY-ESO-1・siTCR®遺伝子治療薬の大塚製薬(株)との契約終了について

- ・ 大塚製薬(株)との「NY-ESO-1・siTCR®遺伝子治療薬共同開発及び販売に関する契約」(2018年4月9日締結)を終了することを本日付で同社と合意しました。
- ・ 本治療薬に係る方針や戦略を両社で総合的に検討した結果、契約を終了するものです。この判断は、本治療薬の有効性・安全性の問題によるものではありません。なお、本契約終了にともなう当期業績への影響は軽微です。
- ・ 本日公表した「NY-ESO-1・siTCR®遺伝子治療薬」に関する大塚製薬株式会社との共同開発・独占販売契約の終了について」もご確認ください。

#### 6. 経済産業省 令和3年度補正予算「ワクチン生産体制強化のためのバイオ医薬品製造拠点等整備事業」の採択について

- ・ 2022年9月30日に経済産業省より採択の発表がありました。
- ・ 当社は、本整備事業において滋賀県草津市の本社地区において、以下の2つの整備事業を進めます。
  - ▶ ワクチン製造拠点の整備事業:  
有事(パンデミック発生時)には mRNA ワクチンやウイルスベクターワクチンの製造を行い、平時には再生・細胞医療・遺伝子治療の開発・製造を支援する CDMO 事業(当社事業)を行うデュアルユース製造設備の整備
  - ▶ 部素材等の製造拠点の整備事業:  
ワクチン製造に不可欠な mRNA ワクチン製造用酵素の製造設備の整備
- ・ 詳細は、経済産業省のホームページをご確認ください。

URL: <https://www.meti.go.jp/information/publicoffer/saitaku/2022/s220930002.html>

以上